

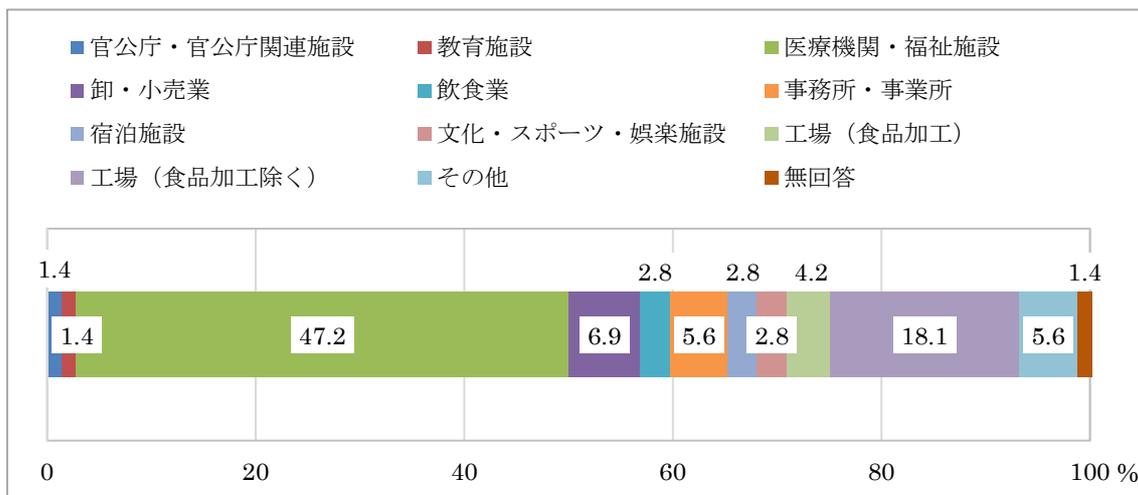
第 3 章 事業所

1 属性項目

質問1 業種

回答された事業所の業種は、「医療機関・福祉施設」が47.2%で最も多く、次いで「工場（食品加工除く）」（18.1%）、「卸・小売業」（6.9%）、「事務所・事業所」（5.6%）、「その他」（5.6%）となっています。「その他」には、不動産業、ショッピングセンターなどの商業施設が含まれています。

●業種(計72)



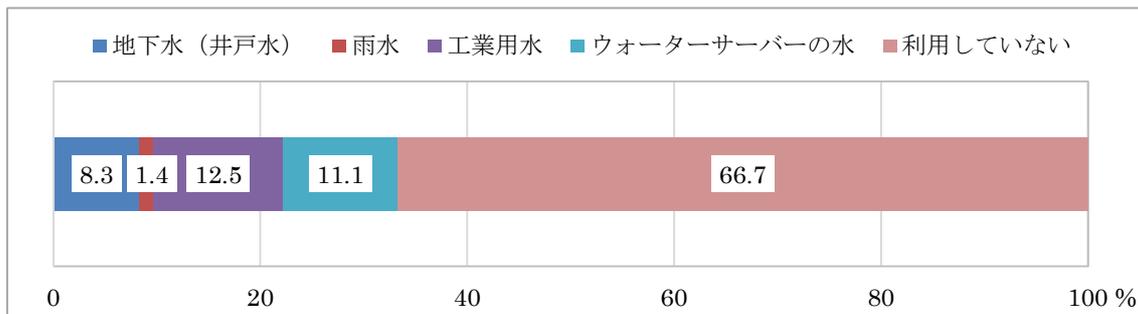
2 利用している水について

質問2 水道水以外で主に利用している水

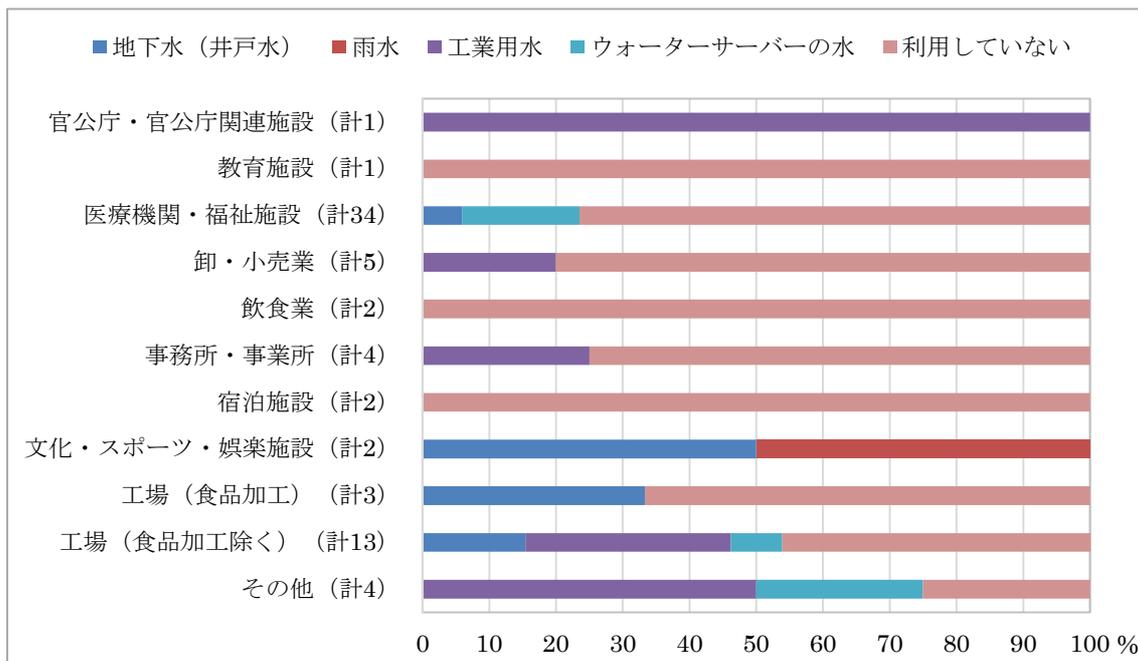
水道水以外で主に利用している水は、「利用していない」(66.7%)という事業所が6割以上を占めています。利用しているものでは、「工業用水」が12.5%で最も多く、次いで「ウォーターサーバーの水」(11.1%)、「地下水(井戸水)」(8.3%)、「雨水」(1.4%)があります。「再生水(下水処理水)」、「その他」は利用されていません。

また、「地下水(井戸水)」は文化・スポーツ・娯楽施設、工場(食品加工)、工場(食品加工除く)、「雨水」は文化・スポーツ・娯楽施設、「工業用水」は官公庁・官公庁関連施設、工場(食品加工除く)、卸・小売業、事務所・事業所、「ウォーターサーバーの水」は医療機関・福祉施設において多く利用されています。

●水道水以外で主に利用している水(計72)



●水道水以外で主に利用している水(業種別)



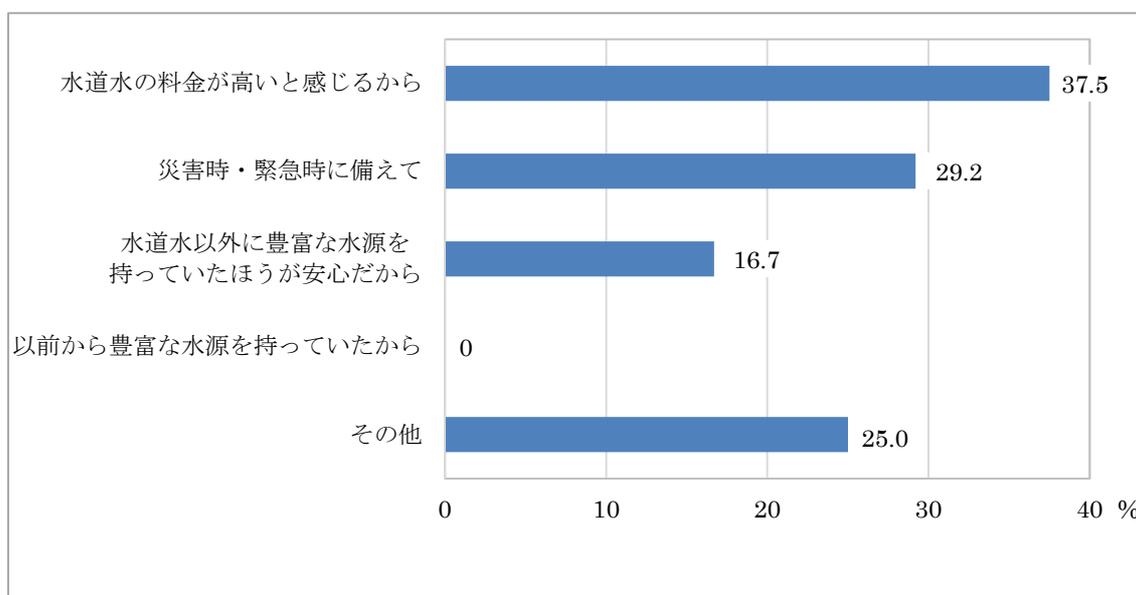
*回答者数が少ない項目は参考値とします。

質問 2-1 水道水以外の水を利用している理由

質問2で水道水以外の水を利用していると回答した事業所の理由は、「水道水の料金が高いと感じるから」が37.5%で最も多く、次いで「災害時・緊急時に備えて」(29.2%)、「水道水以外に豊富な水源を持っていたほうが安心だから」(16.7%)、「その他」(25.0%)となっています。「以前から豊富な水源を持っていたから」はありませんでした。「その他」は病院の来院者・患者へのサービスが多くなっています。

理由ごとに利用している水を見ると、「水道水の料金が高いと感じるから」では地下水(井戸水)と工業用水、「災害時・緊急時に備えて」では地下水(井戸水)とウォーターサーバーの水、「水道水以外に豊富な水源を持っていたほうが安心だから」では地下水(井戸水)と工業用水となっています。

●水道水以外の水を利用している理由(計24)



●水道水以外の水を利用している理由(利用している水の種類別)

	水道水の料金が高いと感じるから	災害時・緊急時に備えて	水道水以外に豊富な水源を持っていたほうが安心だから	その他
地下水(井戸水)(計7)	2	3	2	-
雨水(計1)	-	-	-	1
工業用水(計10)	7	-	2	1
ウォーターサーバーの水(計8)	-	4	-	4

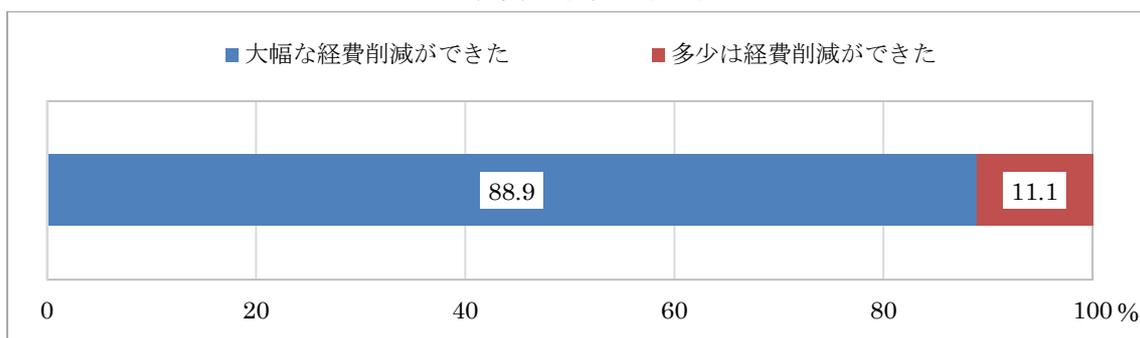
*サンプル数が少ないため参考値とします。

質問2-2 経費削減状況

質問2-1で水道水の料金が高いと感じると回答した事業所で、水道水以外の水を利用することでどれくらいの経費が削減できたか、最も多かった回答は「大幅な経費削減ができた」で88.9%でした。次いで「多少は経費削減ができた」(11.1%)となっています。「あまり変わらなかった」、「経費が増加してしまった」事業所はありませんでした。

理由ごとに利用している水を見ると、地下水(井戸水)や工業用水を利用して「大幅な経費削減ができた」事業所が多い傾向がみられます。

●経費削減状況(計9)



●経費削減状況(利用している水の種類別)

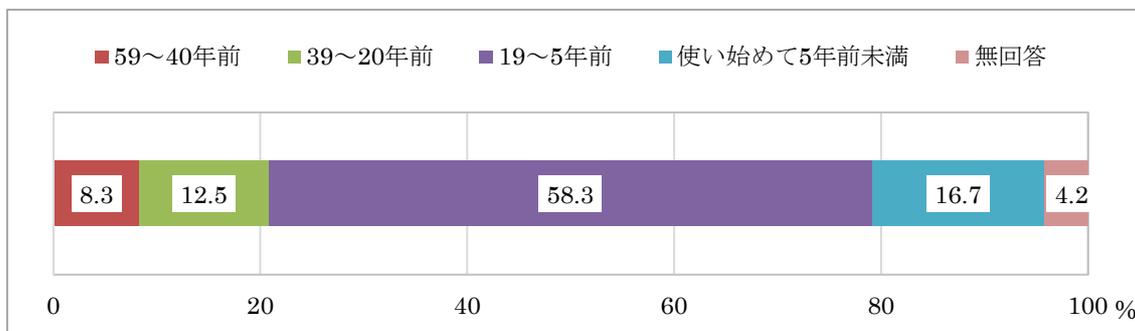
	大幅な経費削減ができた	多少は経費削減ができた
地下水(井戸水)(計2)	2	-
工業用水(計7)	6	1

*サンプル数が少ないため参考値とします。

質問 2-3 水道水以外の水を使い始めた時期

質問2で水道水以外の水を利用していると回答した事業所が、その水を使い始めた時期は、「19～5年前」(58.3%)が最も多く、次いで「使い始めて5年前未満」(16.7%)、「39～20年前」(12.5%)となっており、「60年以上前」、「わからない」はありませんでした。

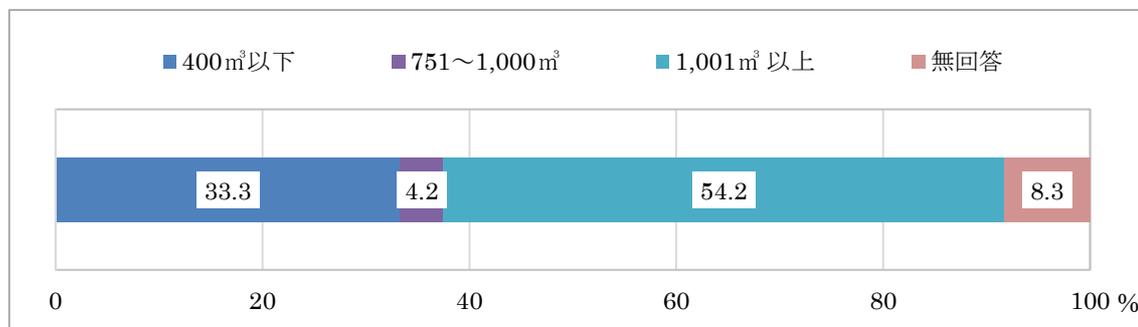
●水道水以外の水を使い始めた時期(計24)



質問 2-4 水道水以外の水の使用状況

質問2で水道水以外の水を利用していると回答した事業所の、その水の使用状況は、「1,001^m以上」(54.2%)が最も多く、次いで「400^m以下」(33.3%)、「751～1,000^m」(4.2%)となっており、「401～600^m」、「601～750^m」、「わからない」はありませんでした。

●水道水以外の水の使用状況(計24)

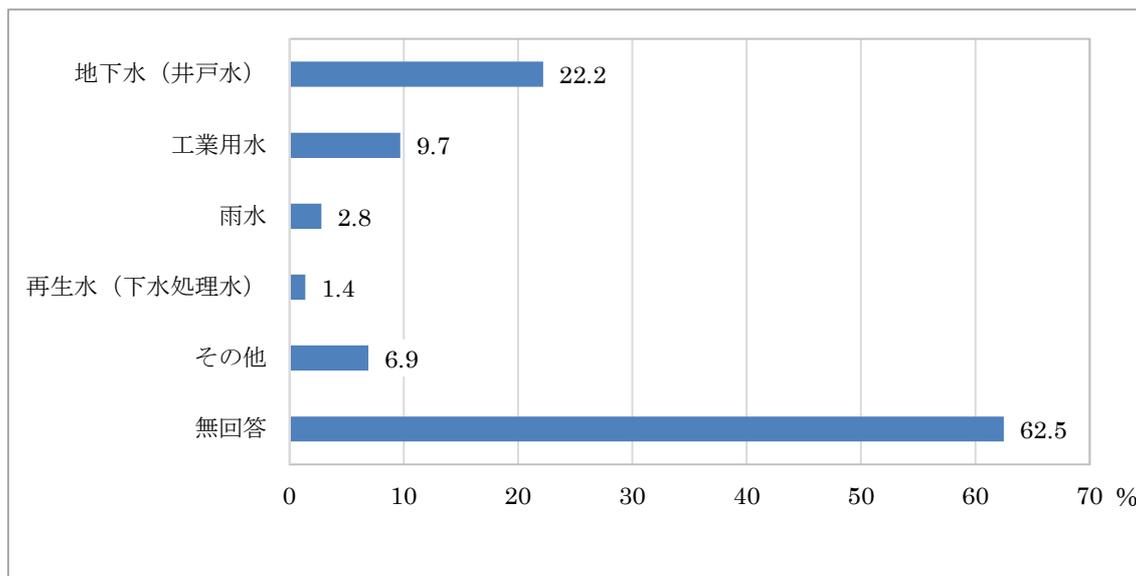


質問3 利用検討している水資源

利用検討している水資源は、「地下水(井戸水)」(22.2%)、「工業用水」(9.7%)、「雨水」(2.8%)、「再生水(下水処理水)」(1.4%)があります。

業種別にみると、医療機関・福祉施設では全ての水資源の利用を検討しているという結果になりました。また、「地下水(井戸水)」は医療機関・福祉施設、「工業用水」は工場(食品加工除く)で多くあげられています。

●利用検討している水資源(計72)



●利用検討している水資源(業種別)

	合計	地下水 (井戸水)	雨水	再生水 (下水 処理水)	工業用水	その他
官公庁・官公庁関連施設	1	-	1	-	-	-
教育施設	-	-	-	-	-	-
医療機関・福祉施設	12	8	1	1	1	3
卸・小売業	2	2	-	-	-	-
飲食業	-	-	-	-	-	-
事務所・事業所	1	-	-	-	1	-
宿泊施設	-	-	-	-	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設	1	1	-	-	-	-
工場(食品加工)	1	1	-	-	-	-
工場(食品加工除く)	8	3	-	-	4	2
その他	1	1	-	-	1	-

* サンプル数が少ないため参考値とします。

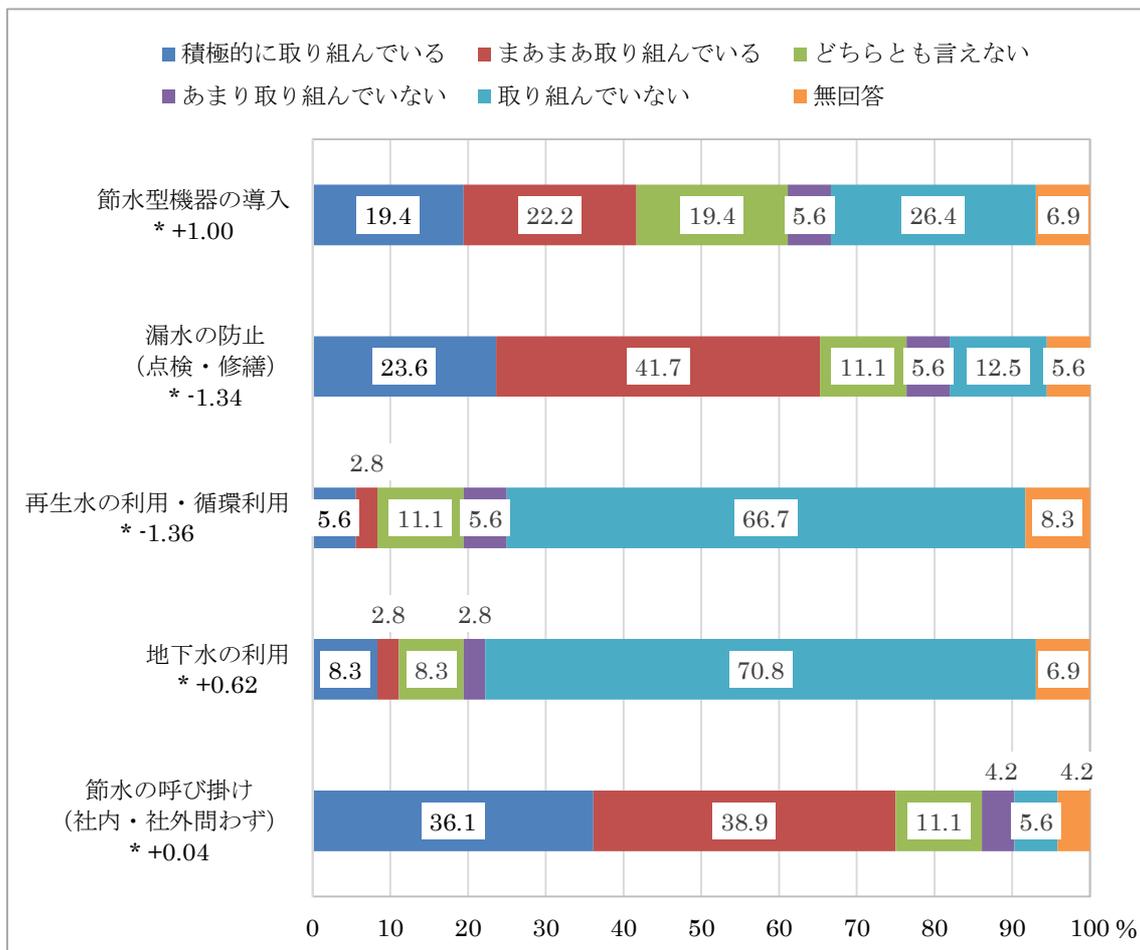
3 水道水について

質問4 節水への取り組み

節水への取り組みについて、①「取り組んでいる」を含む回答（「積極的に取り組んでいる」+「まあまあ取り組んでいる」）と、②「取り組んでいない」を含む回答（「あまり取り組んでいない」+「取り組んでいない」）でまとめると以下のように大別できます。全体として、低コストの取り組みは積極的だが、高コストの取り組みは消極的という傾向がみられます。

- 「取り組んでいる」を含む回答が多い ⇒ 「漏水の防止(点検・修繕)」、
「節水の呼び掛け(社内・社外問わず)」
- 「取り組んでいない」を含む回答が多い ⇒ 「再生水の利用・循環利用」、「地下水の利用」
- 両者が同じくらい ⇒ 「節水型機器の導入」

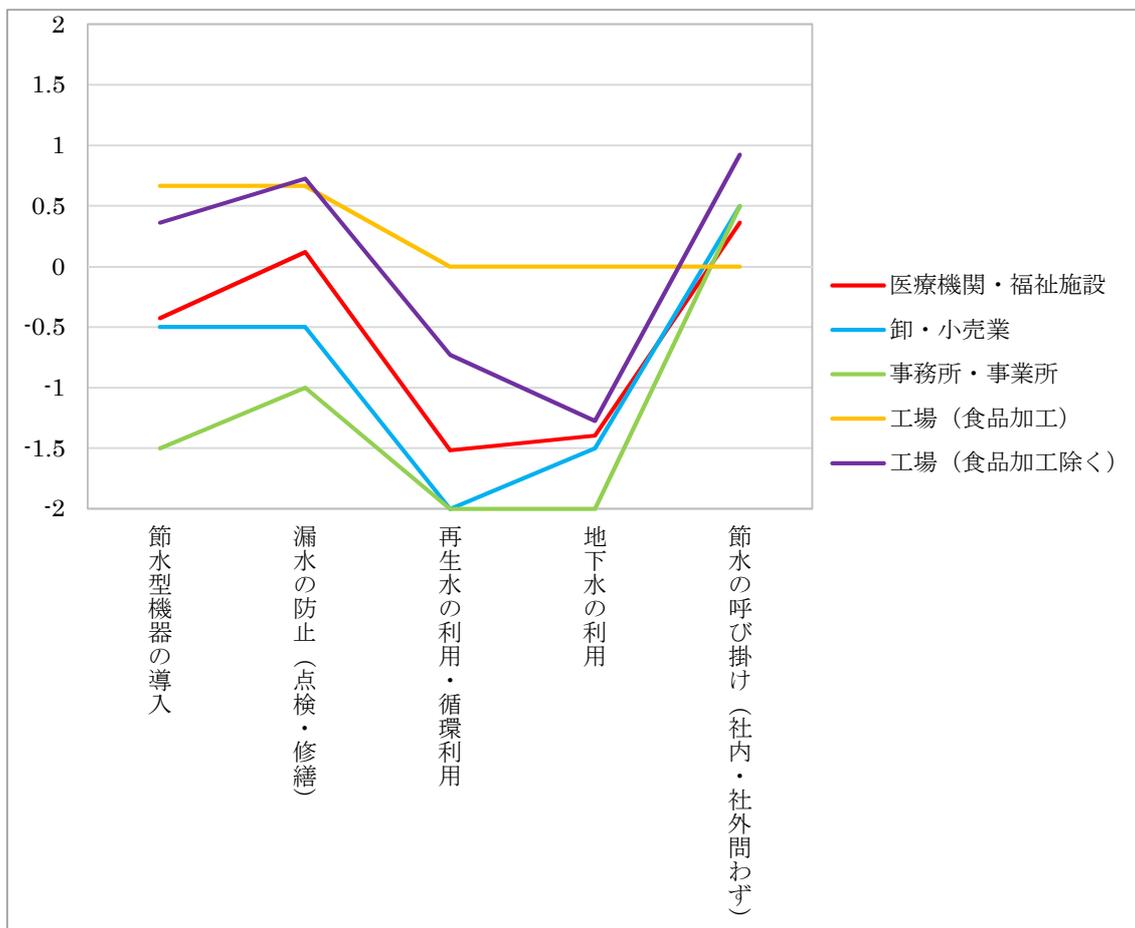
●節水への取り組み(計72)



*左側項目下の数字は<加重平均>で、全体傾向を示しています。ここでは「積極的に取り組んでいる」=2、「まあまあ取り組んでいる」=1、「どちらとも言えない」=0、「あまり取り組んでいない」=-1、「取り組んでいない」=-2として重みをかけた平均値で求めています。

業種別にみると、どの業種も全体と類似した傾向にありますが、事務所・事業所は「節水型機器の導入」、「再生水の利用・循環利用」、「地下水の利用」等に消極的、工場(食品加工)は他業種と比べて「再生水の利用・循環利用」に積極的、という特徴がみられます。また、工場(食品加工除く)は他業種と比べて「節水の呼び掛け(社内・社外問わず)」を積極的に行っています。

●節水への取り組み(業種別、加重平均:取り組み度)



* サンプル数が少ない「官公庁・官公庁関連施設」、「教育施設」、「飲食業」、「宿泊施設」、「文化・スポーツ・娯楽施設」、「その他」は除いています。

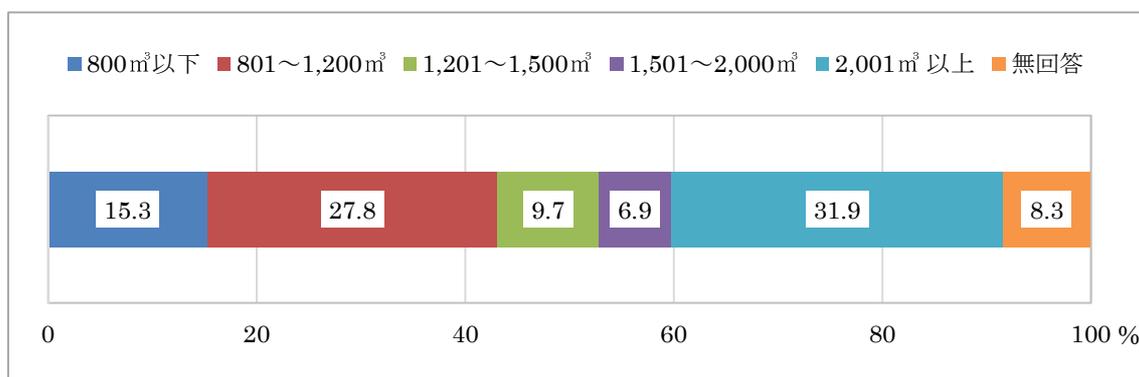
* 加重平均(取り組み度)は、全事業所が「積極的に取り組んでいる」なら2、「取り組んでいない」なら-2、「どちらとも言えない」なら0となる指標です。

質問5 水道の使用量

水道の使用量は、「2,001m³以上」の大口事業所が31.9%で最も多く、次いで「801～1,200m³」が27.8%でした。

業種別にみると、「2,001m³以上」は、医療機関・福祉施設(8事業所)、工場(食品加工除く)(5事業所)、卸・小売業、工場(食品加工)(各3事業所)、その他(2事業所)、官公庁・官公庁関連施設、文化・スポーツ・娯楽施設(各1事業所)があります。同業種でも事業所規模で使用量は様々ですが、飲食業、事務所・事業所、宿泊施設は全て1,500m³以下で、使用量が比較的少ないと言えます。

●水道の使用量(計72)



●水道の使用量(業種別)

	合計	800m ³ 以下	801～1,200m ³	1,201～1,500m ³	1,501～2,000m ³	2,001m ³ 以上
官公庁・官公庁関連施設	1	-	-	-	-	1
教育施設	-	-	-	-	-	-
医療機関・福祉施設	31	3	11	5	4	8
卸・小売業	5	-	2	-	-	3
飲食業	1	1	-	-	-	-
事務所・事業所	4	3	1	-	-	-
宿泊施設	1	-	-	1	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設	2	-	1	-	-	1
工場(食品加工)	3	-	-	-	-	3
工場(食品加工除く)	13	3	5	-	-	5
その他	4	1	-	-	1	2

* サンプル数が少ないため参考値とします。

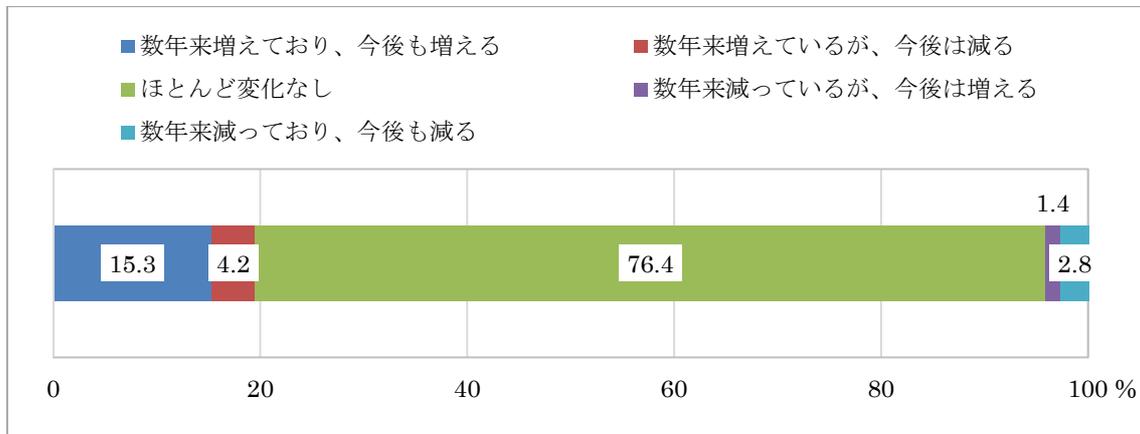
質問6 使用量の状況

使用量の状況は、「ほとんど変化なし」が76.4%と大半を占めています。次いで「数年来増えており、今後も増える」(15.3%)、「数年来増えているが、今後は減る」(4.2%)、「数年来減っており、今後も減る」(2.8%)、「数年来減っているが、今後は増える」(1.4%)が続いています。従って、今後、増える傾向にある事業所は16.7%、減る傾向にある事業所は7.0%となります。

業種別にみると、医療機関・福祉施設と工場(食品加工除く)は今後増える傾向にある事業所となります。

使用量との関係を見ると、「801~1,200㎡」、「2,001㎡以上」は、他の使用量と比較して、増える傾向にある事業所が多くなっています。(次頁図)

●使用量の状況(計72)

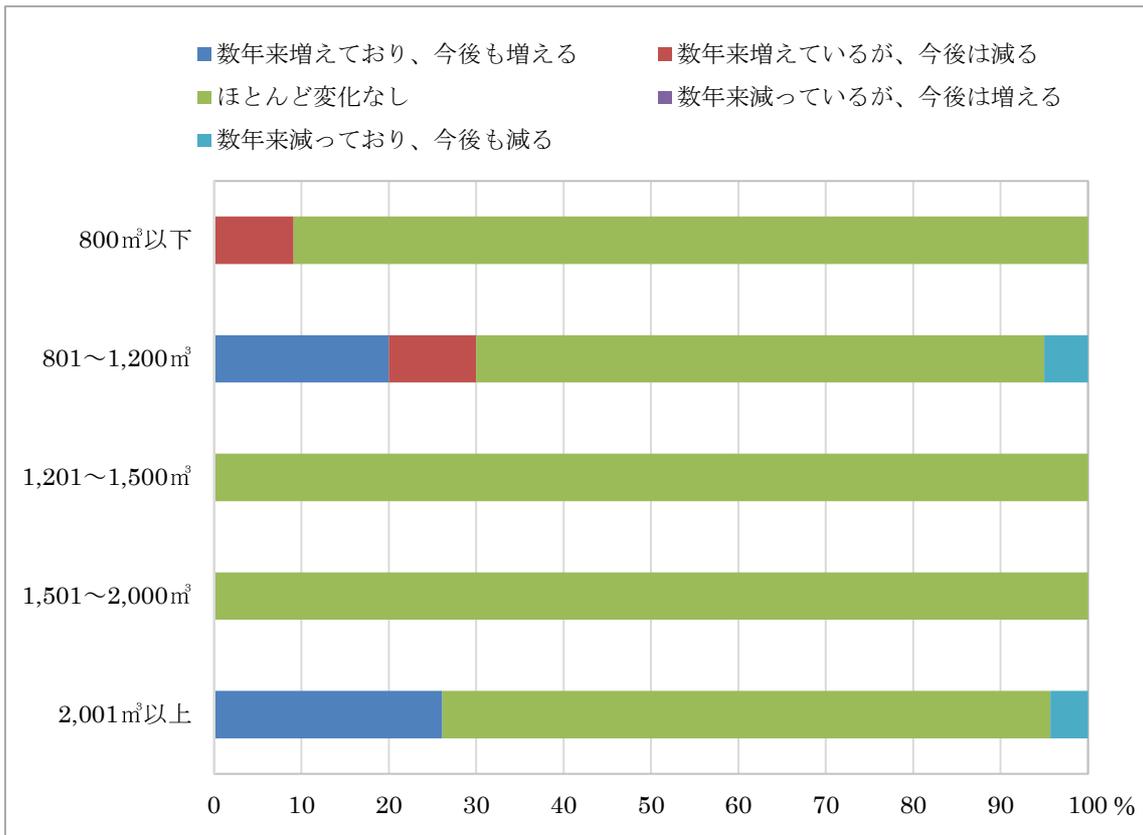


●使用量の状況(業種別)

	合計	数年来増えており、今後も増える	数年来増えているが、今後は減る	ほとんど変化なし	数年来減っているが、今後は増える	数年来減っており、今後も減る
官公庁・官公庁関連施設	1	-	-	1	-	-
教育施設	1	-	-	1	-	-
医療機関・福祉施設	34	5	1	28	-	-
卸・小売業	5	1	-	4	-	-
飲食業	2	-	-	2	-	-
事務所・事業所	4	-	1	3	-	-
宿泊施設	2	-	-	1	1	-
文化・スポーツ・娯楽施設	2	1	-	-	-	1
工場(食品加工)	3	-	-	3	-	-
工場(食品加工除く)	13	4	1	7	-	1
その他	4	-	-	4	-	-

* サンプル数が少ないため参考値とします。

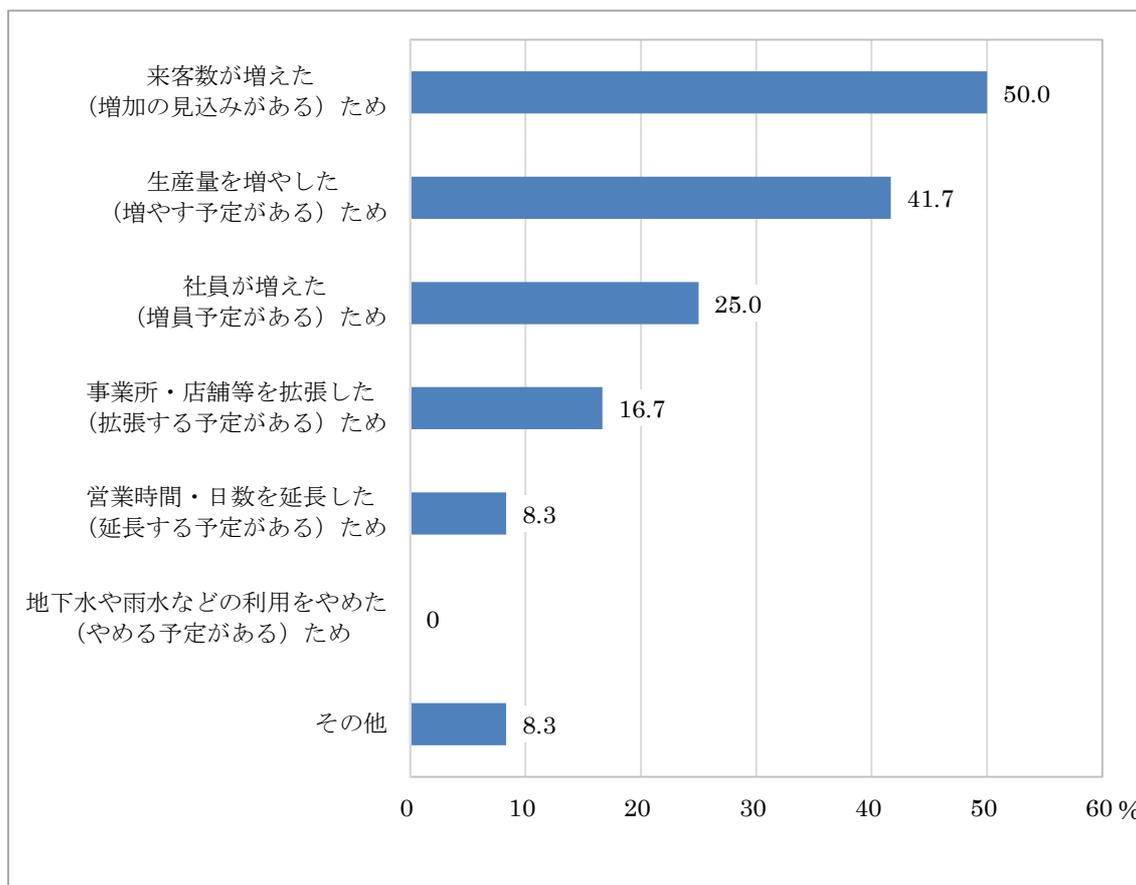
● 使用量の状況(使用量別)



質問6-1 今後の使用水量の増加理由

質問6で使用水量が増える傾向にあると回答した事業所の理由は、「来客数が増えた(増加の見込みがある)ため」(50.0%)が最も多く、次いで「生産量を増やした(増やす予定がある)ため」(41.7%)、「社員が増えた(増員予定がある)ため」(25.0%)、「事業所・店舗等を拡張した(拡張する予定がある)ため」(16.7%)、「営業時間・日数を延長した(延長する予定がある)ため」(8.3%)となっています。

●今後の使用水量の増加理由(計12)



質問6-2 今後の使用水量の減少理由

質問6で今後使用水量が減る傾向にあると回答した事業所の理由は、「節水の取り組みを徹底した(取り組む予定がある)ため」が最も多く、次いで「事業所・店舗等を縮小した(縮小する予定がある)ため」と「生産量を減らした(減らす予定がある)ため」と「来客数が減った(減少が予想される)ため」が同じ回答数あります。

水需要を減らす(「節水の取り組みを徹底した(取り組む予定がある)ため」)という能動的要因が多くあがっていることが注目されます。

●今後の使用水量の減少理由(計5)

	回答 事業所
事業所・店舗等を縮小した (縮小する予定がある)ため	1
生産量を減らした (減らす予定がある)ため	1
来客数が減った (減少が予想される)ため	1
節水の取り組みを徹底した (取り組む予定がある)ため	3

4 水道料金について

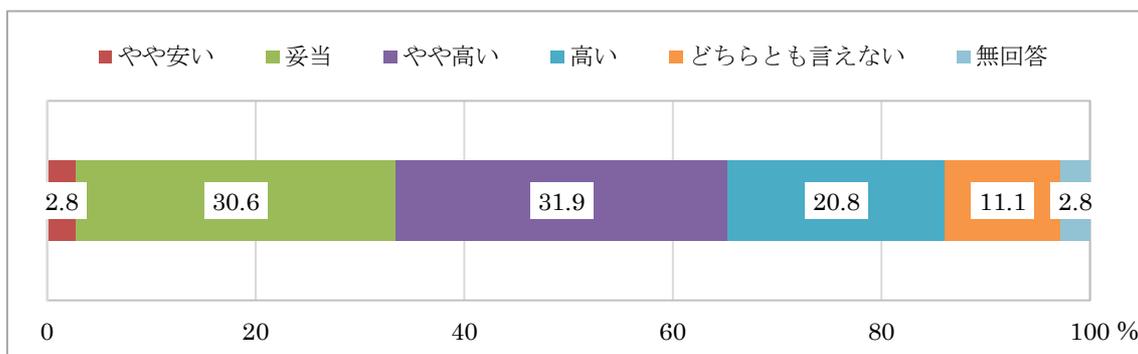
質問7 水道料金

水道料金は、「やや高い」が31.9%で最も多く、次いで「妥当」(30.6%)、「高い」(20.8%)、「どちらとも言えない」(11.1%)、「やや安い」(2.8%)となっており、「安い」は回答がありませんでした。「やや安い」が2.8%と少ないのに対し、「高い」を含む回答(「やや高い」+「高い」)が52.7%と過半数を占めています。

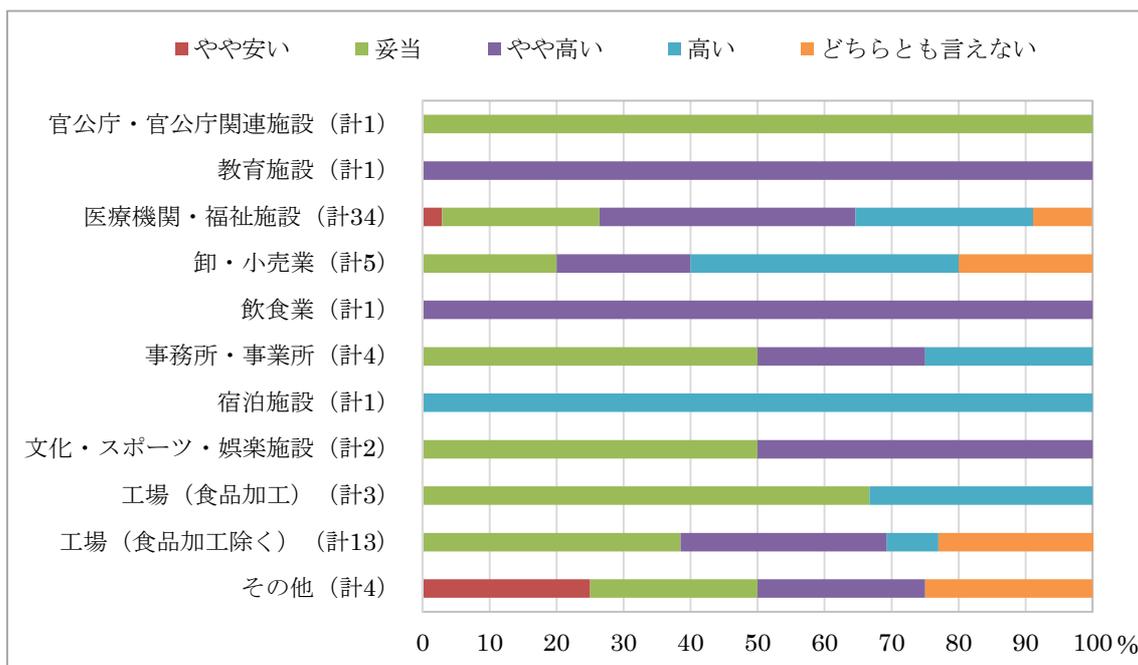
業種別にみると、教育施設、医療機関・福祉施設、卸・小売業、飲食業、宿泊施設で「高い」を含む回答が多くみられます。官公庁・官公庁関連施設、事務所・事業所、工場(食品加工)、その他で「やや安い」、「妥当」と考える人が多い結果になりました。

使用量別にみると、800㎡以下で「高い」を含む回答(「やや高い」+「高い」)が多くなっています。(次頁図)

●水道料金(計72)

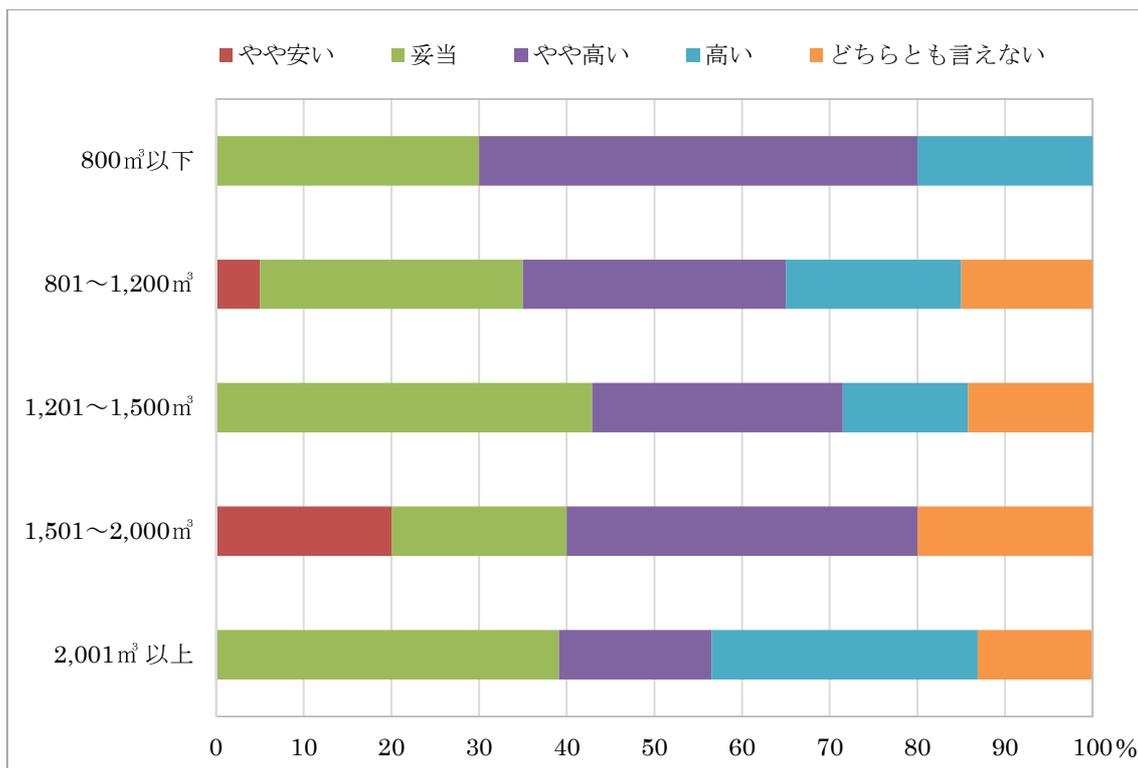


●水道料金(業種別)



*回答者数が少ない項目は参考値とします。

●水道料金(使用量別)



質問7-1 水道料金が安いと感じる理由

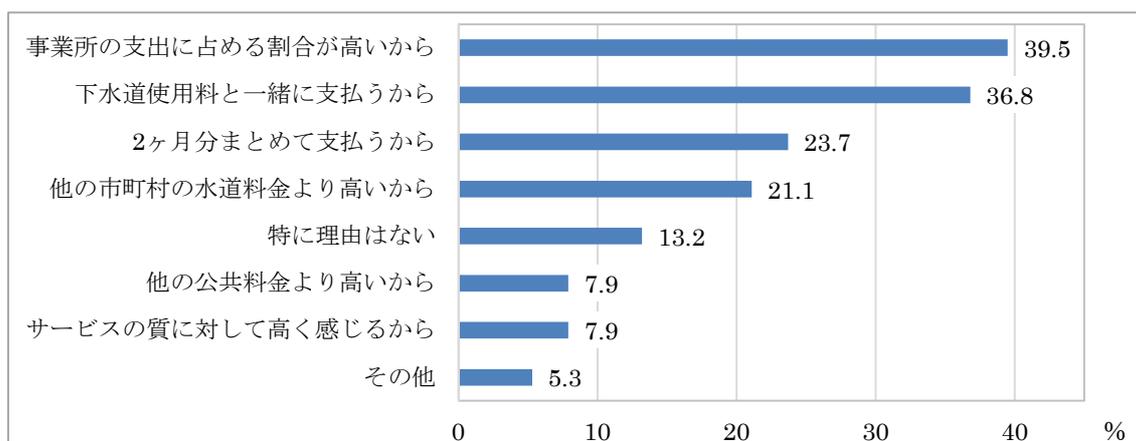
質問7で水道料金がやや安いと感じると回答した事業所は2つあり、その内1事業所のやや安いと感じる理由は「他の市町村の水道料金より安いから」でした。残り1事業所は無回答でした。

質問7-2 水道料金が高いと感じる理由

質問7で水道料金が高いと感じると回答した事業所の理由は、「事業所の支出に占める割合が高いから」が39.5%で最も多くなっています。次いで「下水道使用料と一緒に支払うから」(36.8%)、「2ヶ月分まとめて支払うから」(23.7%)となっています。「他の公共料金」、「サービスの質」等との相対比較より、支払金額の大きさ自体が高く感じることに影響していると考えられます。

業種別にみると、「事業所の支出に占める割合が高いから」は、医療機関・福祉施設、卸・小売業、事務所・事業所、工場(食品加工)であげられています。

●水道料金が高いと感じる理由(計38)



●水道料金が高いと感じる理由(業種別)

	回答事業所	事業所の支出に占める割合が高いから	2ヶ月分まとめて支払うから	下水道使用料と一緒に支払うから	他の公共料金より高いから	他の市町村の水道料金より高いから	サービスの質に対して高く感じるから	その他	特に理由はない
官公庁・官公庁関連施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-
教育施設	1	-	-	1	-	1	-	-	-
医療機関・福祉施設	22	11	7	7	2	4	2	2	3
卸・小売業	3	2	1	-	-	-	-	-	-
飲食業	1	-	-	-	-	-	-	-	1
事務所・事業所	2	1	-	2	-	1	-	-	-
宿泊施設	1	-	-	-	1	-	-	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設	1	-	-	1	-	1	-	-	-
工場(食品加工)	1	1	-	-	-	-	-	-	-
工場(食品加工除く)	5	-	1	3	-	1	-	-	1
その他	1	-	-	-	-	-	1	-	-

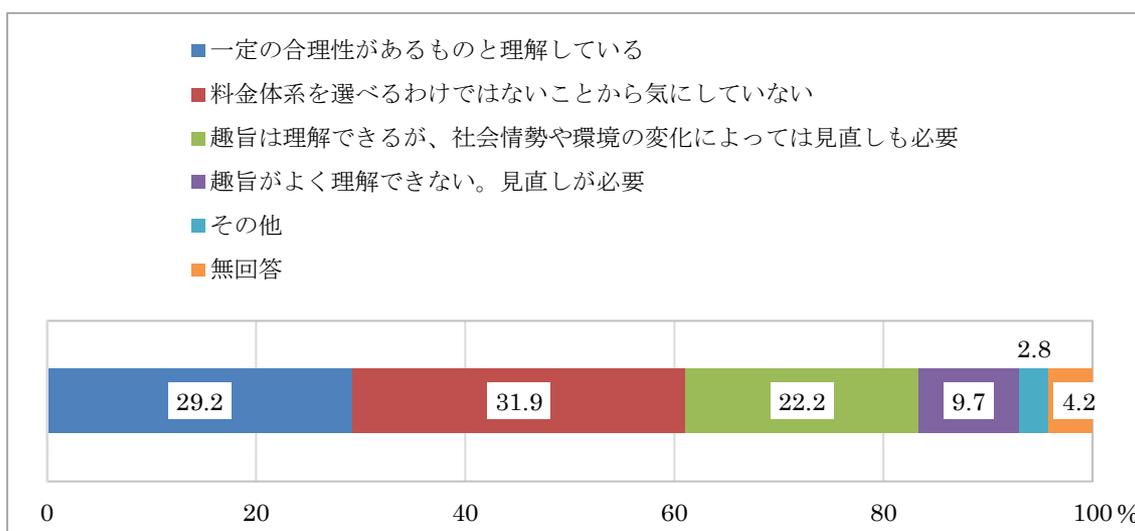
*サンプル数が少ないため参考値とします。

質問8 従量逡増式について

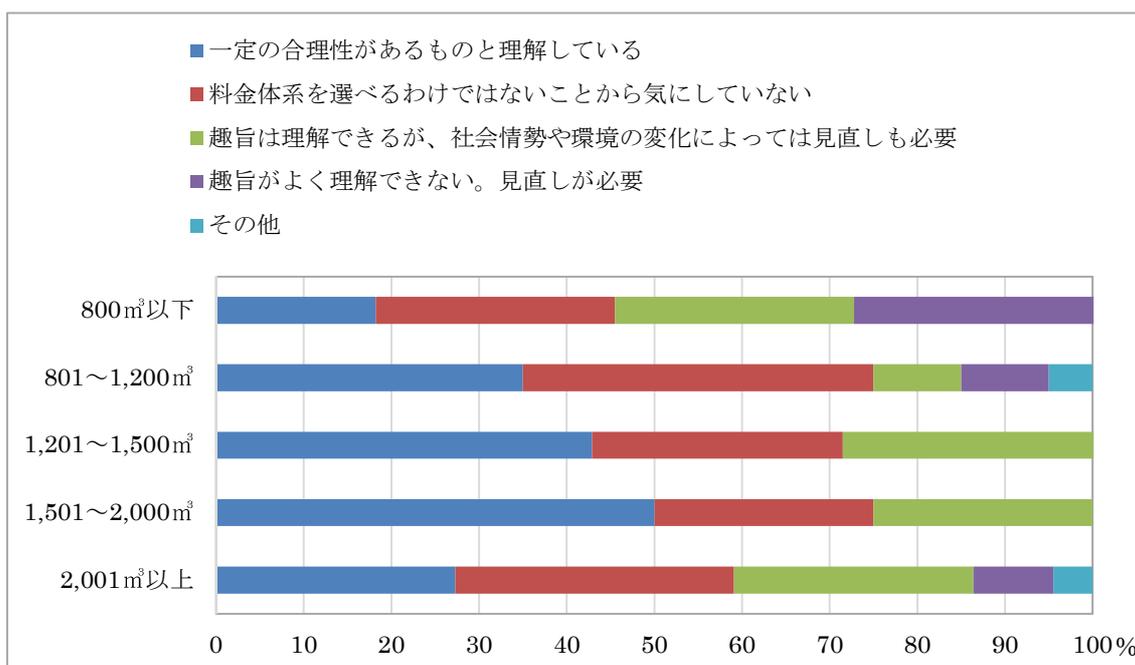
従量逡増式の料金体系の見直しについては、「料金体系を選べるわけではないことから気にしていない」(31.9%)が最も多く、次いで、現在の料金体系に「一定の合理性があるものと理解している」(29.2%)との回答が多いことから、見直しの必要性を感じていない事業所が、過半数を占めていました。

一方、使用量別にみると、使用量800m³以下の事業所で見直しの必要性を感じている事業所が過半数を占めています。

●従量逡増式について(計72)



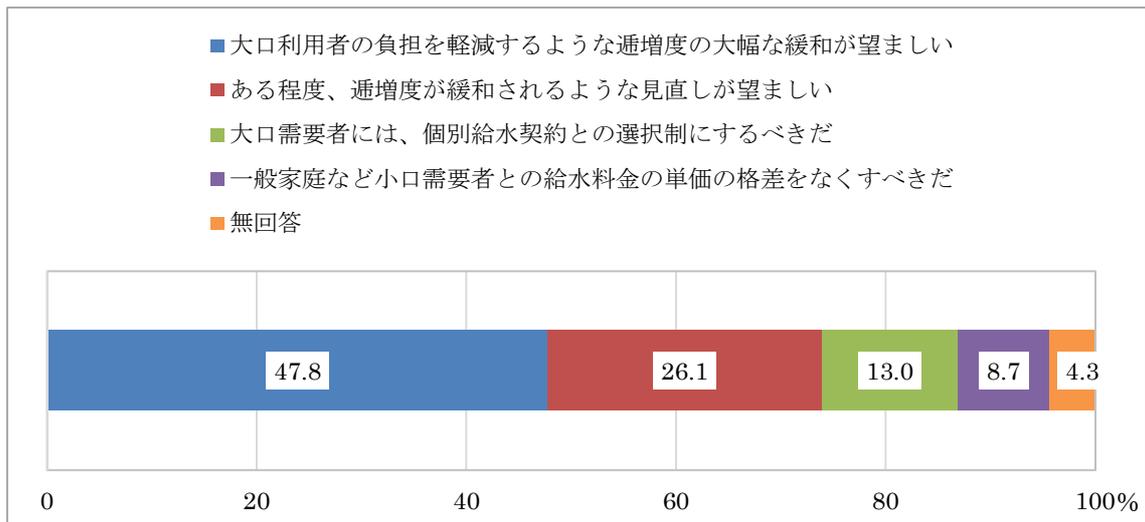
●従量逡増式について(使用量別)



質問 8-1 料金体系の見直し

質問8で従量逡増式の料金体系の見直しが必要と回答した事業所の中で、どのような見直しを希望するか、最も多かった回答は「大口利用者の負担を軽減するような逡増度の大幅な緩和が望ましい」で47.8%でした。次いで「ある程度、逡増度が緩和されるような見直しを望ましい」(26.1%)があげられています。

●料金体系の見直し(計23)

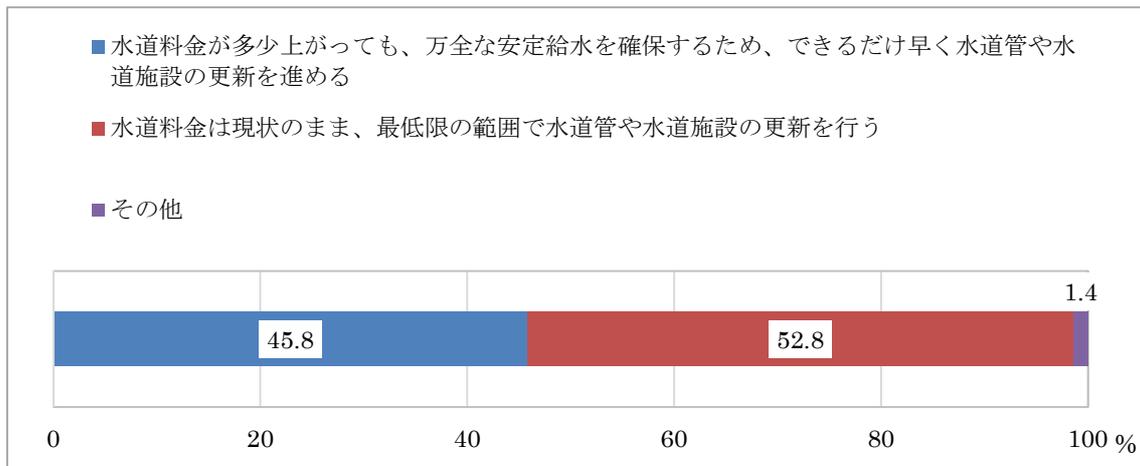


質問9 水道料金と水道管や水道施設の更新について

水道料金と水道管や水道施設の更新について、「水道料金は現状のまま、最低限の範囲で水道管や水道施設の更新を行う」(52.8%)が最も多く、次いで「水道料金が多少上がっても、万全な安定給水を確保するため、できるだけ早く水道管や水道施設の更新を進める」(45.8%)となっています。「水道料金は値下げし、水道管や水道施設の更新は、壊れてから行う」は回答がありませんでした。

業種別にみると、「水道料金は現状のまま、最低限の範囲で水道管や水道施設の更新を行う」は医療機関・福祉施設、工場(食品加工除く)で多くあげられています。

●水道料金と水道管や水道施設の更新について(計72)



●水道料金と水道管や水道施設の更新について(業種別)

	回答事業所	水道料金が多少上がっても、万全な安定給水を確保するため、できるだけ早く水道管や水道施設の更新を進める	水道料金は現状のまま、最低限の範囲で水道管や水道施設の更新を行う
官公庁・官公庁関連施設	1	1	-
教育施設	1	1	-
医療機関・福祉施設	34	12	21
卸・小売業	5	2	3
飲食業	2	1	1
事務所・事業所	4	2	2
宿泊施設	2	2	-
文化・スポーツ・娯楽施設	2	1	1
工場(食品加工)	3	1	2
工場(食品加工除く)	13	6	7
その他	4	3	1

*サンプル数が少ないため参考値とします。

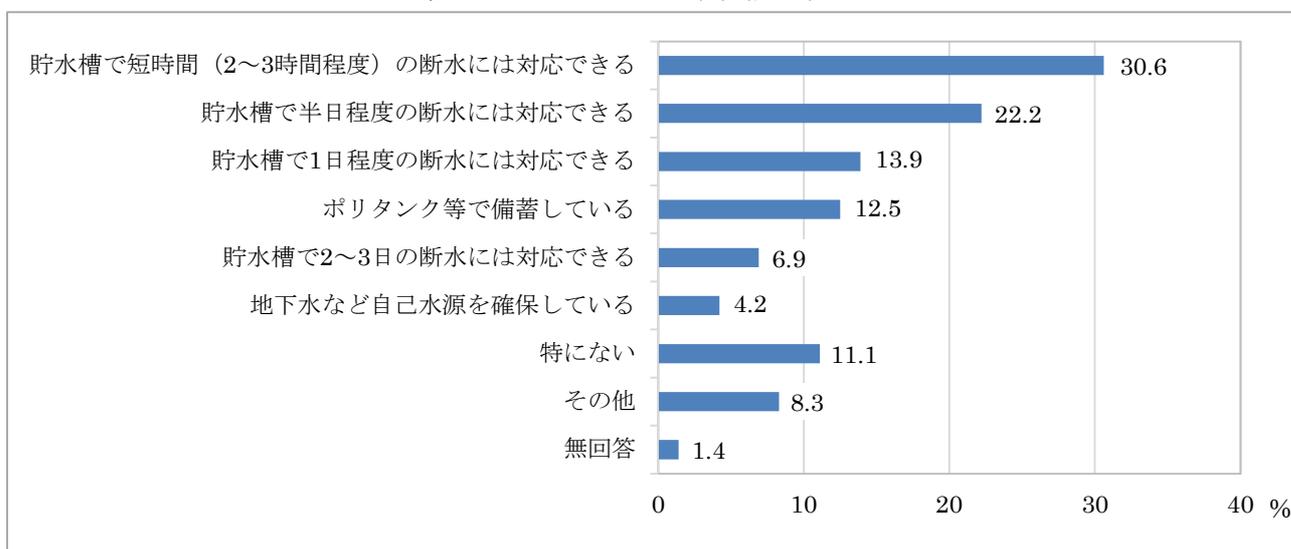
5 災害時・非常時について

質問10 災害時・断水時における対策

災害時・断水時に備えて貯水等の対策を行っている事業所は87.5%（「特になし」と「無回答」を除く比率）にのびます。複数の対策を組み合わせ実施している事業所もありますが、数日以上の上の貯水（「貯水槽で2～3日の断水には対応している」+「地下水などの自己水源を確保している」）は11.1%と少なくなります。

業種別にみると、数日以上の上の断水に対応できると回答したのは、医療機関・福祉施設で多くなっています。

●災害時・断水時における対策(計72)



●災害時・断水時における対策(業種別、項目名は短縮しています)

	回答 事業所	貯水槽				ポリ タンク等	自己 水源	その他
		短時間	半日	1日	2～3日			
官公庁・官公庁関連施設	1	1	-	-	-	-	-	-
教育施設	1	-	-	1	-	-	-	-
医療機関・福祉施設	34	11	6	6	5	7	2	3
卸・小売業	4	2	1	1	-	-	-	-
飲食業	2	-	-	-	-	-	-	-
事務所・事業所	4	1	1	1	-	1	-	-
宿泊施設	2	1	1	-	-	-	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設	2	1	-	-	-	-	-	1
工場(食品加工)	3	2	1	-	-	-	-	-
工場(食品加工除く)	13	3	4	-	-	-	1	2
その他	4	-	2	-	-	1	-	-

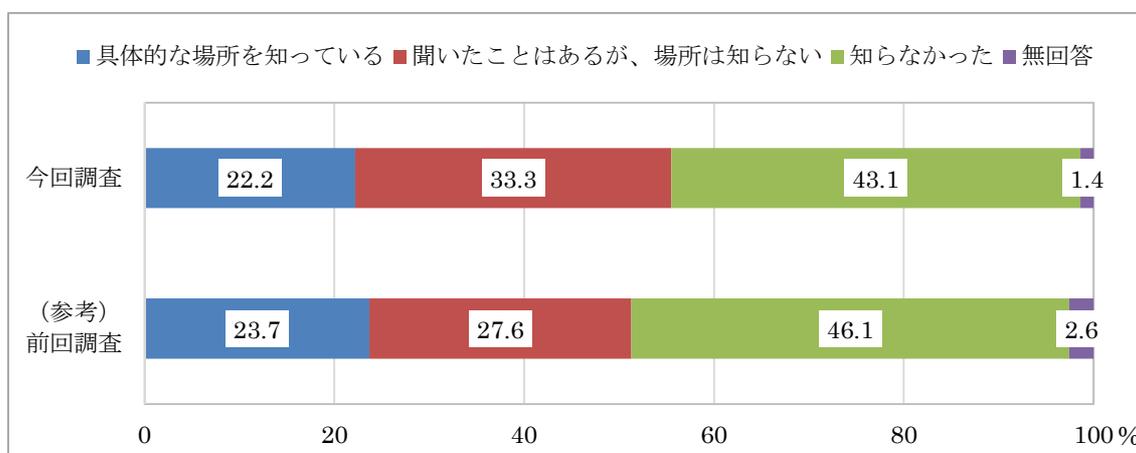
*サンプル数が少ないため参考値とします。

質問 1 1 身近な指定給水所の場所

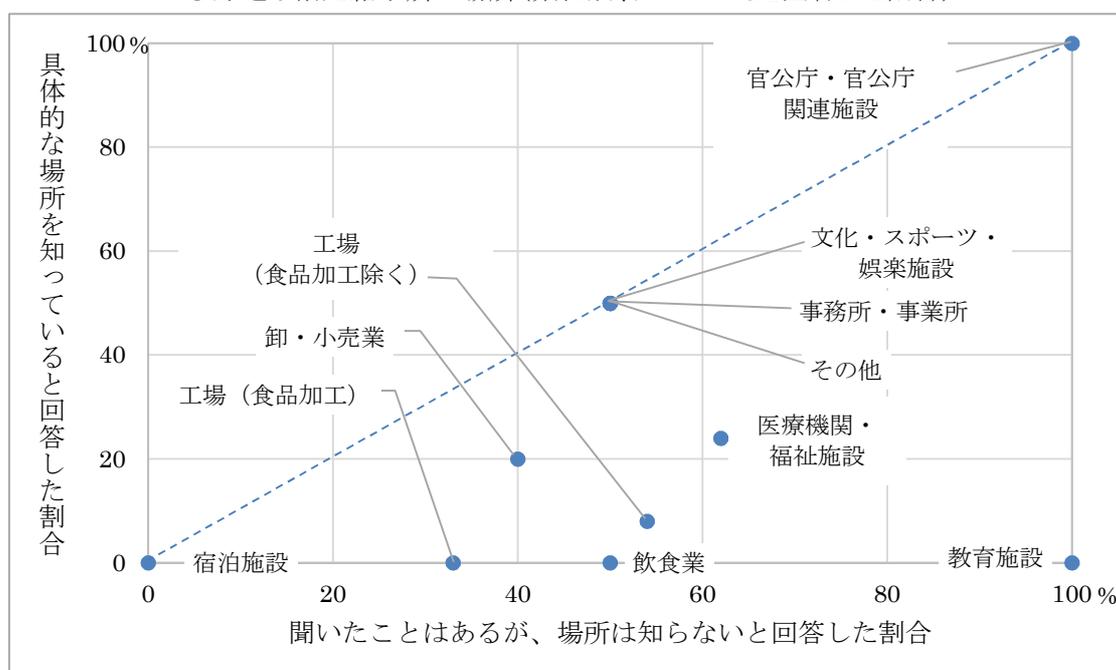
身近な指定給水所の場所は、「知らなかった」が43.1%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、場所は知らない」(33.3%)、「具体的な場所を知っている」(22.2%)となっており、場所を知っている事業所は少ない状況です。なお、前回調査と比べると、「具体的な場所を知っている」は減少していますが、「聞いたことはあるが、場所は知らない」が増加しており、指定給水所の認知度が高まっています。

業種別にみると、官公庁・官公庁関連施設、文化・スポーツ・娯楽施設、事務所・事業所、その他では認知度が高くなっています。

●身近な指定給水所の場所(計72)



●身近な指定給水所の場所(業種別、知っていると回答した割合)

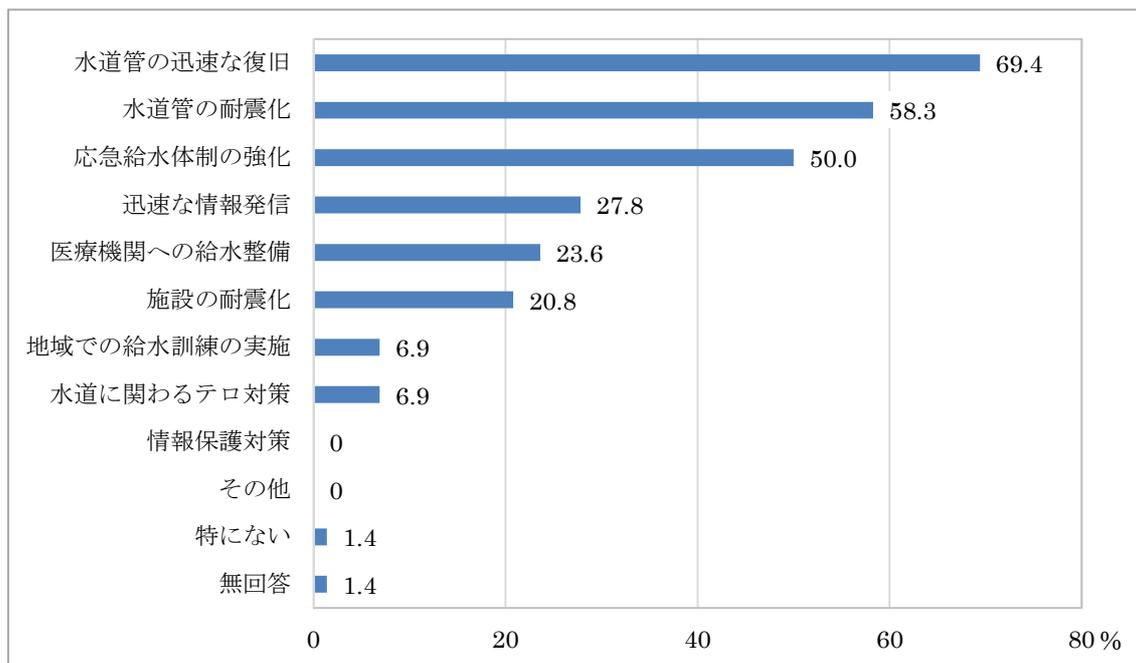


質問 1 2 災害時・非常時の対策として水道局に望むこと

災害時・非常時の対策として水道局に望むことでは、「水道管の迅速な復旧」(69.4%)、「水道管の耐震化」(58.3%)、「応急給水体制の強化」(50.0%)が過半数を超えており、多くの事業所が望んでいます。

また、「水道管の迅速な復旧」は、宿泊施設除く全業種で、回答事業所の半数以上があげています。

●災害時・非常時の対策として水道局に望むこと(計72)



●災害時・非常時の対策として水道局に望むこと(業種別、主要3項目)

	回答事業所	水道管の迅速な復旧	水道管の耐震化	応急給水体制の強化
官公庁・官公庁関連施設	1	1	1	-
教育施設	1	1	-	1
医療機関・福祉施設	33	21	18	17
卸・小売業	5	5	5	2
飲食業	2	1	-	1
事務所・事業所	4	2	3	2
宿泊施設	2	-	2	1
文化・スポーツ・娯楽施設	2	2	1	2
工場(食品加工)	3	2	2	1
工場(食品加工除く)	13	11	7	6
その他	4	3	2	2

* サンプル数が少ないため参考値とします。

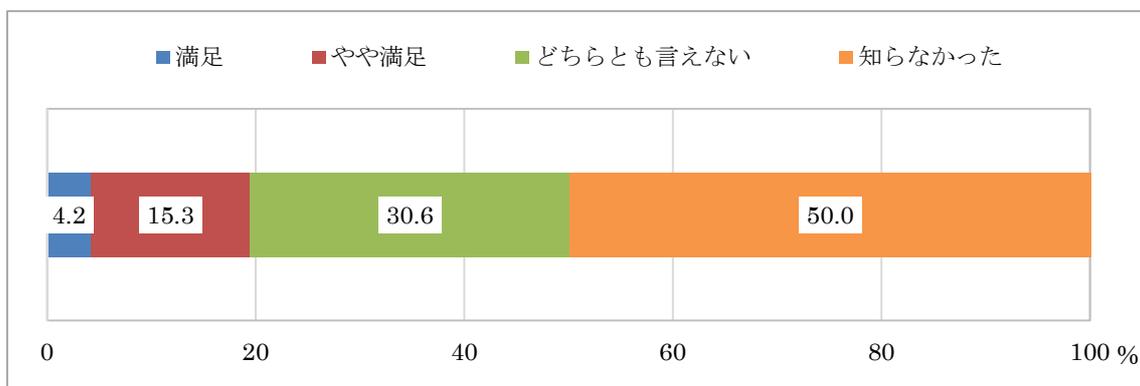
6 広報・啓発活動について

質問13 ホームページでの情報発信

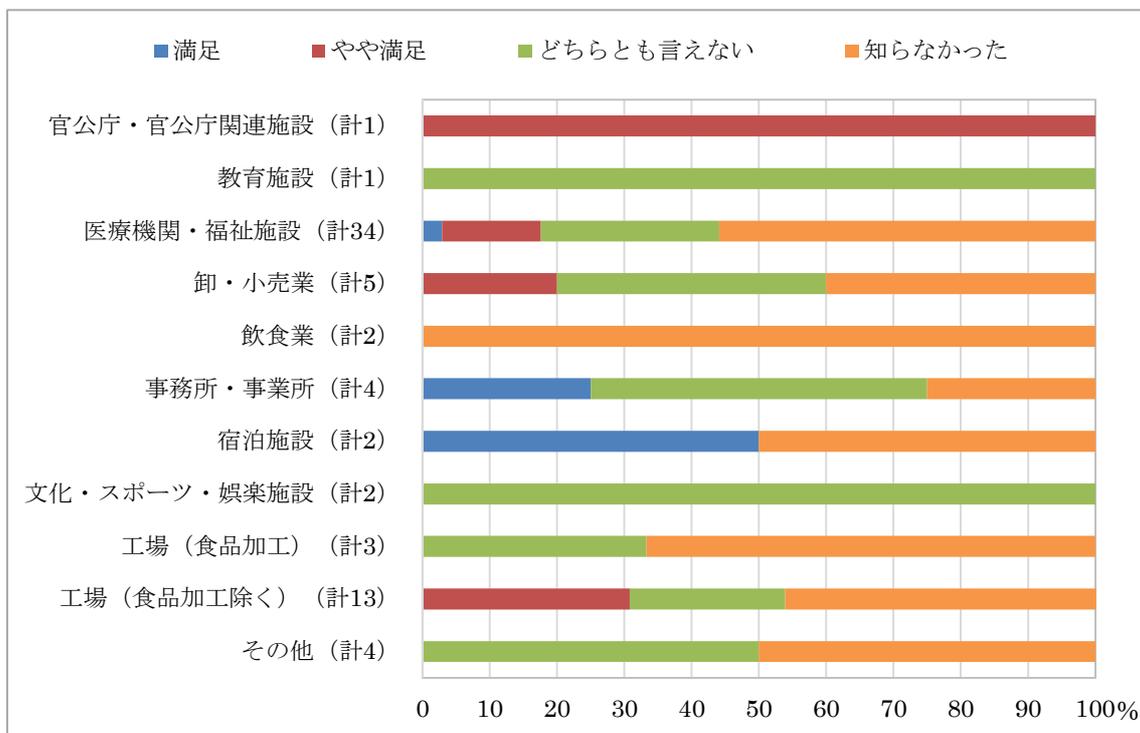
ホームページでの情報発信は、「知らなかった」(50.0%)が最も多く、次いで「どちらとも言えない」(30.6%)となっています。「やや不満」、「不満」の回答はなく、不満を持っている事業所は少ないと思われます。

業種別にみると、事務所・事業所と宿泊施設で「満足」の回答が多く、飲食業と工場(食品加工)で「知らなかった」の回答が特に多くみられました。

●ホームページでの情報発信(計72)



●ホームページでの情報発信(業種別)



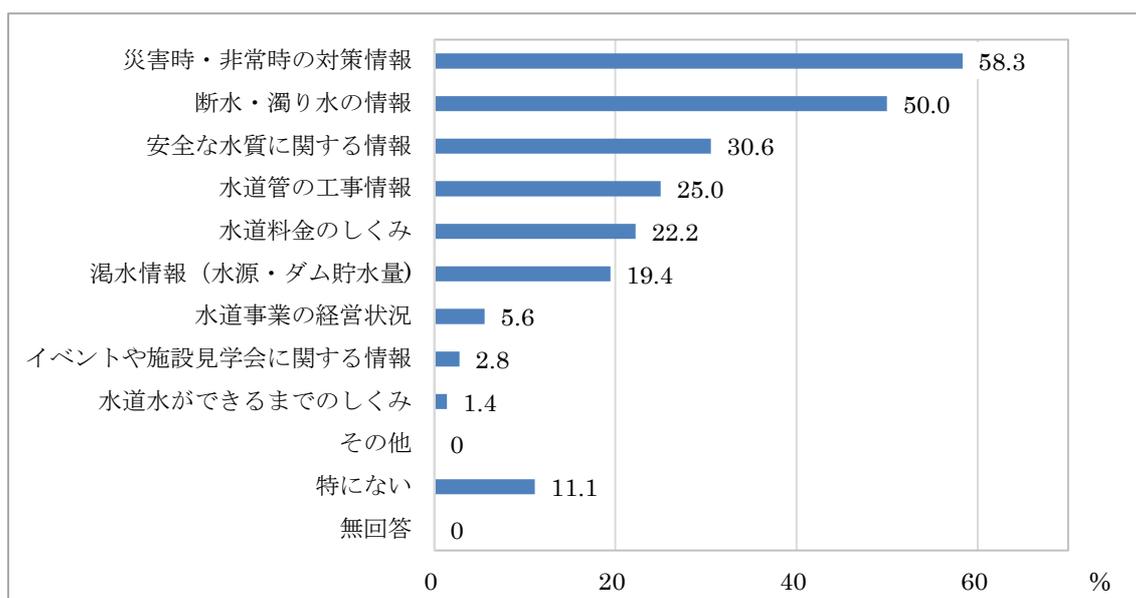
*回答者数が少ない項目は参考値とします。

質問14 知りたい水道情報

知りたい水道情報は、「災害時・非常時の対策情報」(58.3%)と「断水・濁り水の情報」(50.0%)が過半数を超えて多くなっています。次いで「安全な水質に関する情報」(30.6%)、「水道管の工事情報」(25.0%)、「水道料金のしくみ」(22.2%)、「渇水情報(水源・ダム貯水量)」(19.4%)となっています。

業種別にみると、医療機関・福祉施設で「災害時・非常時の対策情報」が、工場(食品加工)、工場(食品加工除く)で「断水・濁り水の情報」が多くあげられています。

●知りたい水道情報(計72)



●知りたい水道情報(業種別、主要3項目)

	回答事業所	災害時・非常時の対策情報	断水・濁り水の情報	安全な水質に関する情報
官公庁・官公庁関連施設	1	1	1	-
教育施設	-	-	-	-
医療機関・福祉施設	34	27	18	12
卸・小売業	5	3	1	1
飲食業	2	-	1	-
事務所・事業所	4	2	2	-
宿泊施設	2	1	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設	2	1	1	1
工場(食品加工)	3	1	2	2
工場(食品加工除く)	13	2	7	5
その他	4	3	2	1

* サンプル数が少ないため参考値とします。

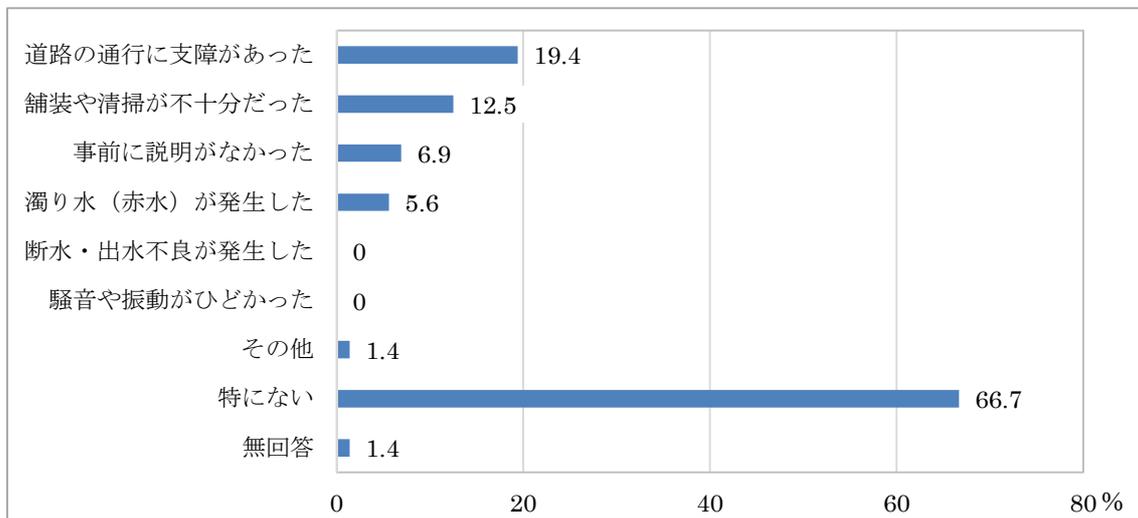
7 水道事業について

質問15 水道局の工事などで不満に思ったこと

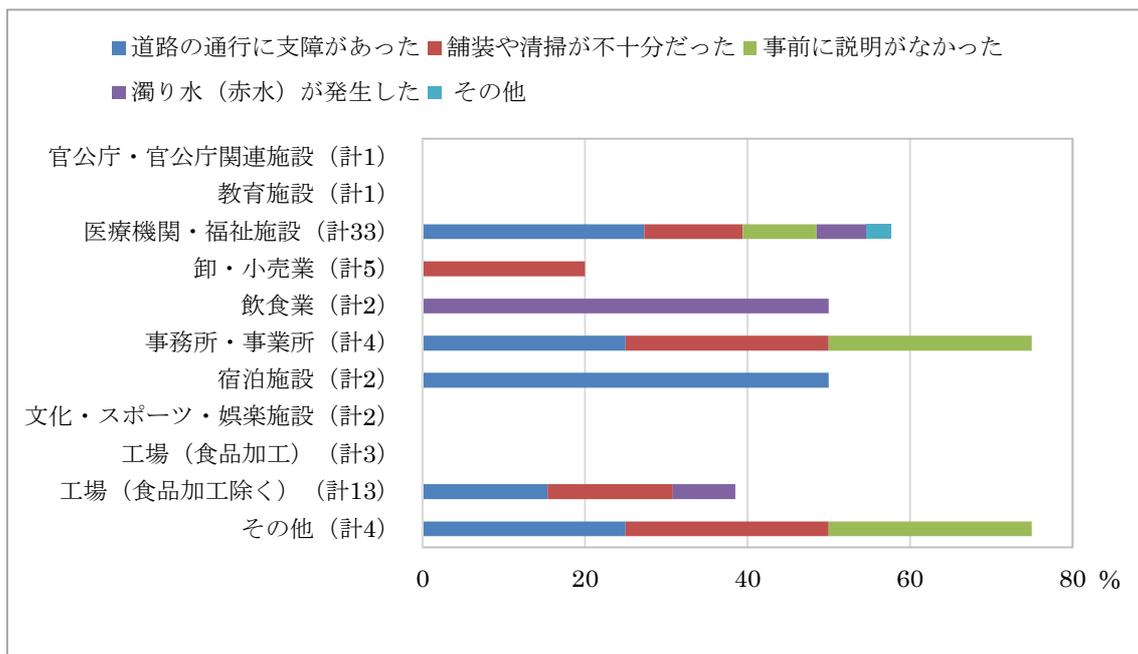
水道局の工事などで不満に思ったことは、「特にない」が66.7%で最も多くなっています。無回答を除く残り31.9%が不満事項で、「道路の通行に支障があった」、「舗装や清掃が不十分だった」などがあげられます。

業種別にみると、事務所・事業所で多くの不満があげられており、次いで、医療機関・福祉施設で不満が多くなっています。一方で、官公庁・官公庁関連施設、教育施設、文化・スポーツ・娯楽施設、工場（食品加工）は特に不満に思ったことはないという結果になりました。

●水道局の工事などで不満に思ったこと(計72)



●水道局の工事などで不満に思ったこと(業種別)

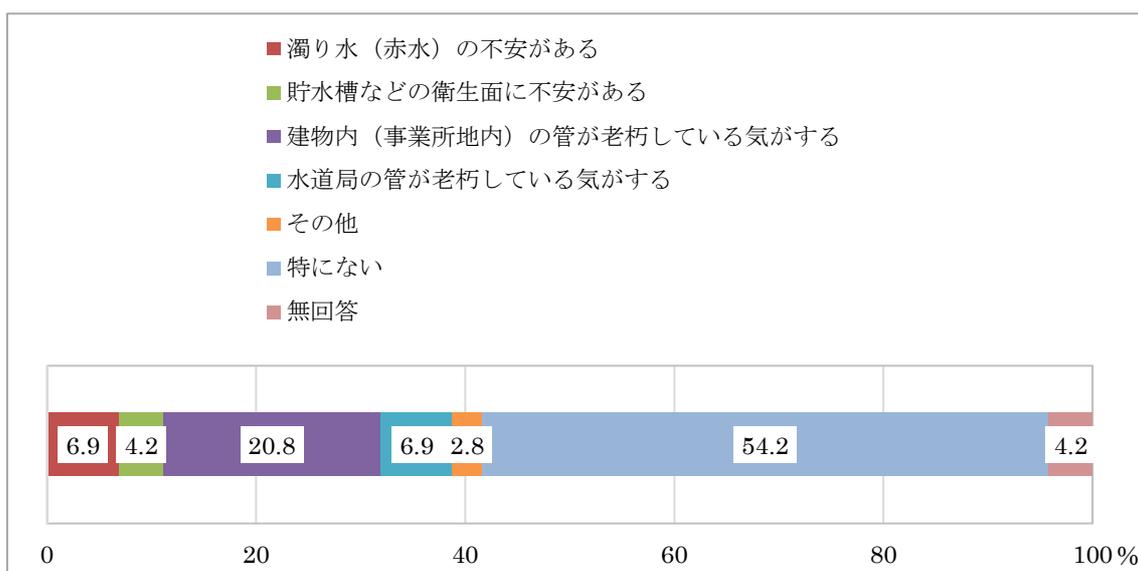


質問16 配管に関して不安なこと

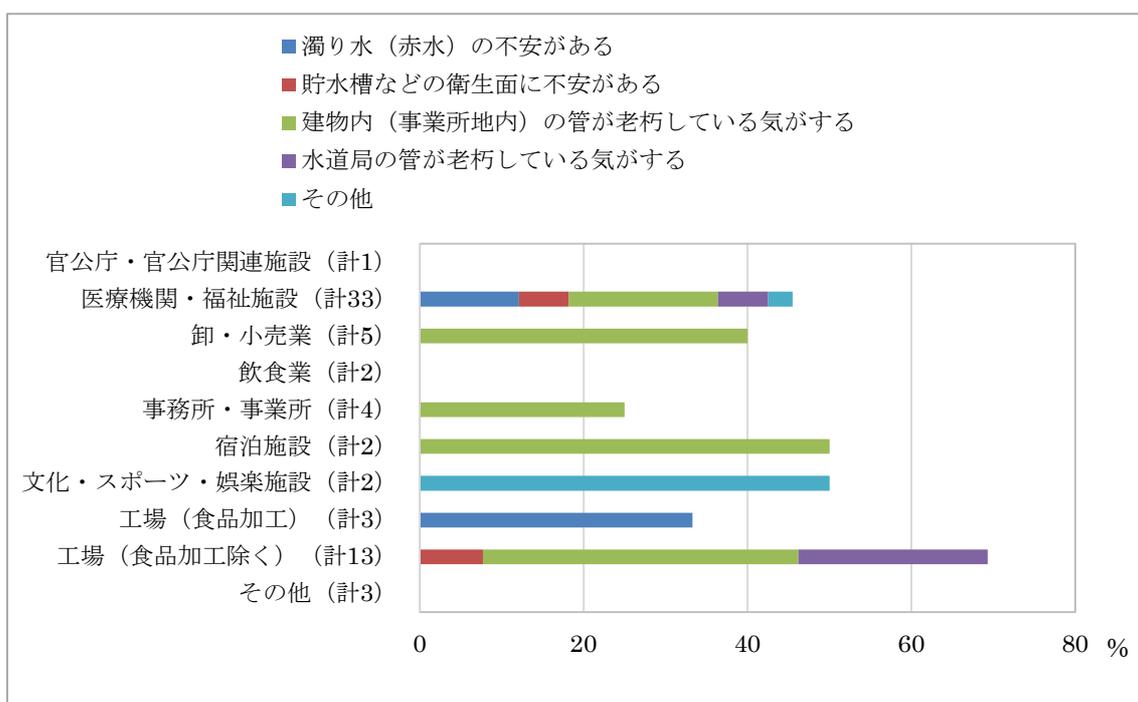
配管に関して不安なことは、「特にない」が54.2%で最も多くなっています。無回答を除く残り41.6%が不安事項で、「建物内(事業所地内)の管が老朽している気がする」、「水道局の管が老朽している気がする」、「濁り水(赤水)の不安がある」が続いています。

業種別にみると、「建物内(事業所地内)の管が老朽している気がする」は多くの業種であげられています。特に工場(食品加工除く)での割合が多くなっています。一方、官公庁・官公庁関連施設、飲食業、その他は配管に関して特に不安なことはないという結果になりました。

●配管に関して不安なこと(計72)



●配管に関して不安なこと(業種別)



*「教育施設」は回答者数が0であるため除いています。

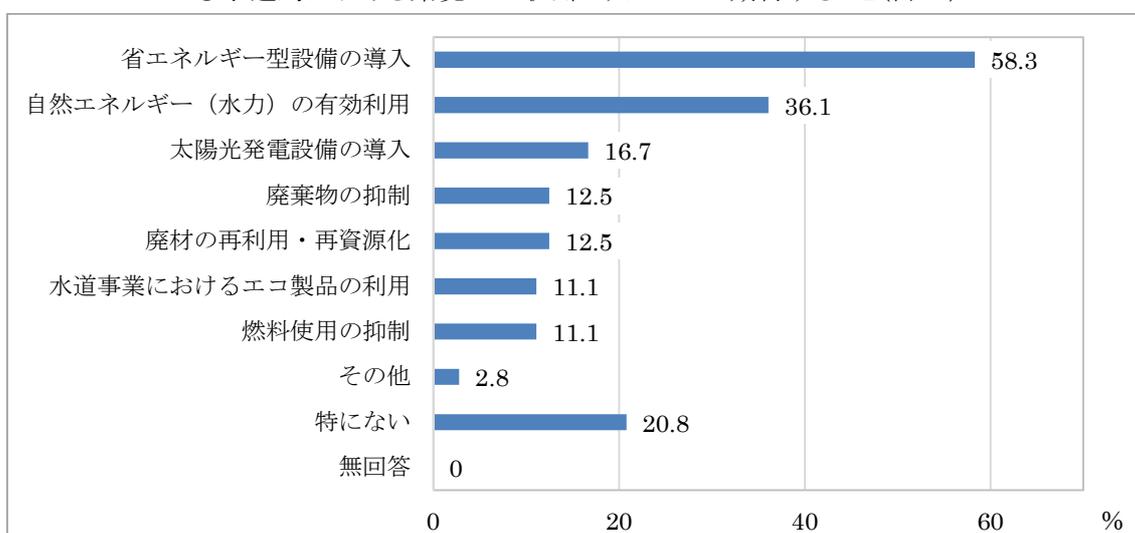
8 環境との調和について

質問17 水道局における環境への取り組みについて期待すること

水道局における環境への取り組みについて期待することは、「省エネルギー型設備の導入」(58.3%)と「自然エネルギー(水力)の有効利用」(36.1%)が多くなっています。次いで「太陽光発電設備の導入」(16.7%)、「廃棄物の抑制」、「廃材の再利用・再資源化」(各12.5%)があり、エネルギー関係が多くなっています。

業種別にみると「省エネルギー型設備の導入」は全業種であげられています。

●水道局における環境への取り組みについて期待すること(計72)



●水道局における環境への取り組みについて期待すること(業種別、主要3項目)

	回答事業所	省エネルギー型設備の導入	自然エネルギー(水力)の有効利用	太陽光発電設備の導入
官公庁・官公庁関連施設	1	1	1	-
教育施設	1	1	-	-
医療機関・福祉施設	34	19	10	5
卸・小売業	5	3	1	1
飲食業	2	1	1	-
事務所・事業所	4	3	3	1
宿泊施設	2	2	2	1
文化・スポーツ・娯楽施設	2	1	1	-
工場(食品加工)	3	1	2	-
工場(食品加工除く)	13	8	4	4
その他	4	2	-	-

* サンプル数が少ないため参考値とします。

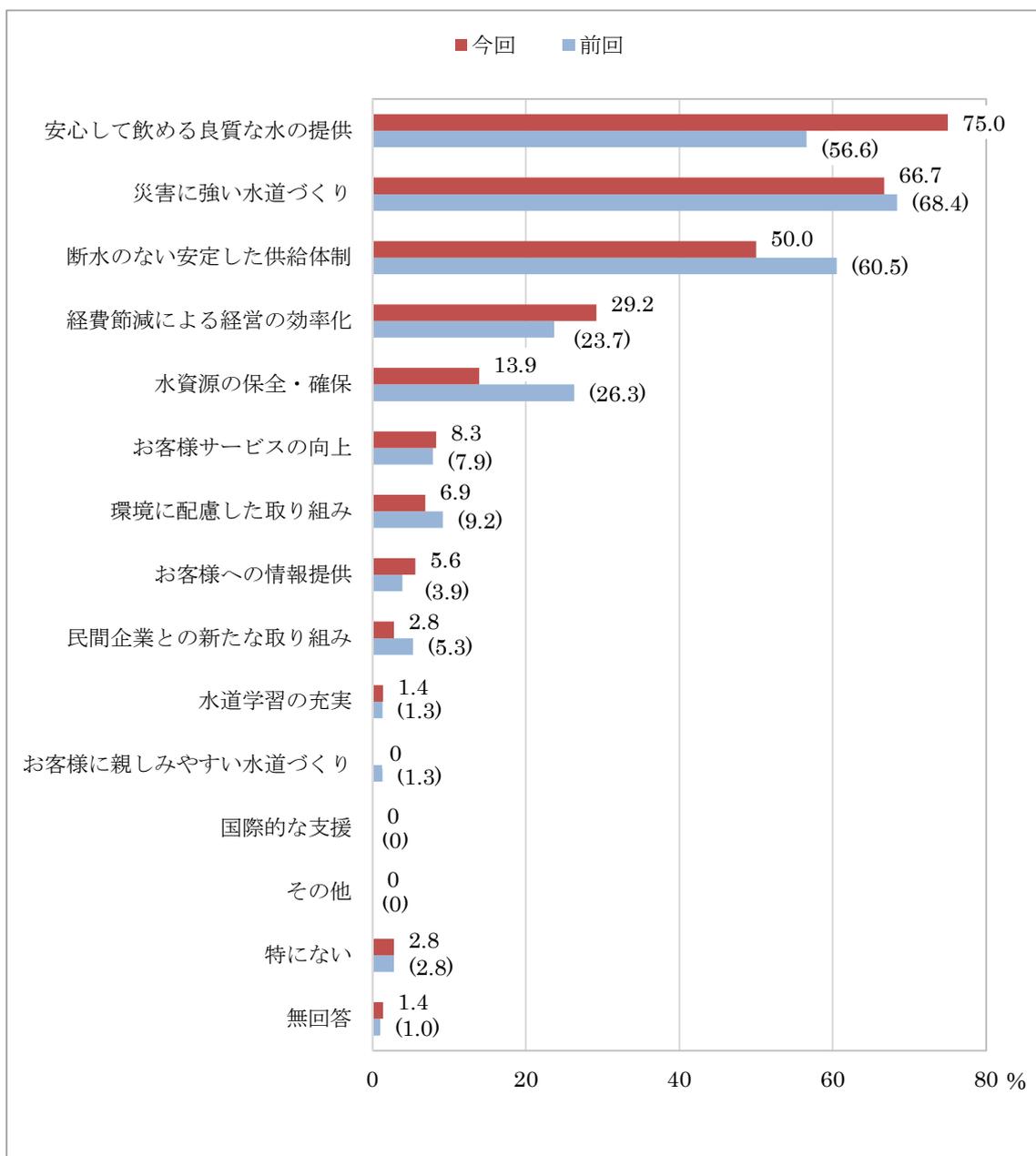
9 今後の課題について

質問18 今後の水道局の取り組みにおいて重要視すること

今後の水道局の取り組みにおいて重要視することは、「安心して飲める良質な水の提供」(75.0%)、「災害に強い水道づくり」(66.7%)、「断水のない安定した供給体制」(50.0%)が過半数を超えて多くなっています。

前回調査では「災害に強い水道づくり」が最も重要視されていましたが、今回調査では「安心して飲める良質な水の提供」の志向が強くなっています。

●今後の水道局の取り組みにおいて重要視すること(計72)

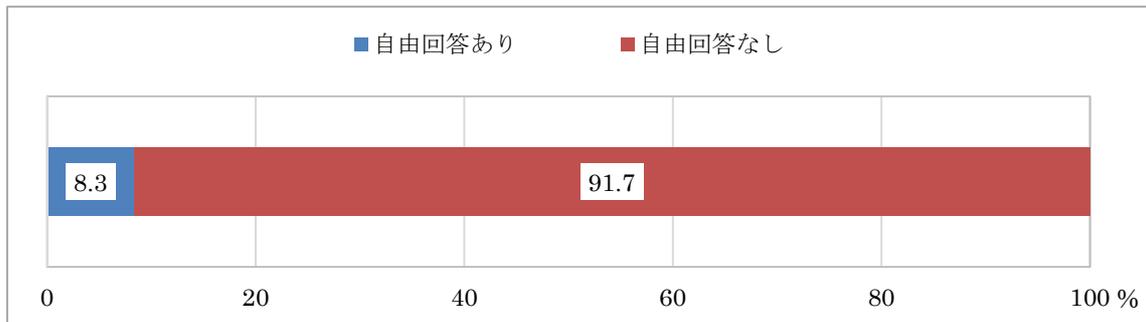


10 自由回答

質問19 水道局へのご意見・ご要望

水道局へのご意見・ご要望として、6件の自由回答がありました。

●水道局へのご意見・ご要望—自由回答(計72)



●水道局へのご意見・ご要望—自由回答の分野別件数

ご意見・ご要望	件数
水道管の更新について	2
アンケートに関して	1
水源について	1
災害時・非常時の水の供給・復旧について	1
サービスについて	1